

松本市基本構想 2030（素案）

1 趣旨

将来を見据え、松本市民がめざす基本理念と、これを実現するための行動指針を示し、市民と行政が一丸となって取り組む、まちづくりの方針とするものです。

2 名称

松本市基本構想 2030

3 目標年次

西暦 2030 年度（令和 12 年度）

4 人口の考え方

国立社会保障・人口問題研究所の将来推計によると、2050年の日本の人口は1億人を下回り、15歳から64歳の生産年齢人口も、2040年には総人口の54パーセント程度にまで減少すると予測されています。

このような厳しい現実をしっかりと受けとめた上で、持続可能な地方都市としてあり続けるため、松本市では、あらゆる政策を総動員することにより、少子化に歯止めをかけ、移住・定住や関係人口の増加に努めます。

5 基本理念

松本市は、北アルプスに象徴される雄々しき山々と梓川や奈良井川などの清らかな水の流れ、さらには緑豊かな自然に恵まれたまちとして、また、国宝松本城をはじめとした歴史と伝統に培われた文化の薫り高いまちとして、先人たちのたゆまぬ努力により発展をしてきました。

今後、人口減少社会がさらに進展し、右肩上がりの成長が難しくなると予測される時代においても、私たちは、先人たちが築いたこのすばらしいまち「松本」を受け継ぎ、磨き、価値を高めた上で、次の世代へと引き継いでいかなければなりません。

そのためには、50年先、100年先の将来を見据え、これまでの固定観念や因習にとらわれることなく、常に「何のために、何をする」を意識し、社会情勢の変化にも柔軟に対応していくことが重要です。

また、あらためて「人」を中心として、まちづくりのあり方を考え、自然と、街、人との関係をつなぎ直し、松本の地域特性を最大限にいかした、自然と都市文化とが調和、融合する、松本らしい循環型社会を実現する必要があると考えます。

そこで、私たちは、このまちの主役である市民一人ひとりが、日々の暮らしの中で、

岳 自然豊かな環境に感謝し

楽 文化・芸術を楽しむ

学 共に生涯学び続ける

ことにより、三ガク都に象徴される松本らしさを「シンカ（進化、深化、真価）」することを基本理念として掲げました。

「豊かさと幸せに 挑み続ける 三ガク都」をキャッチフレーズに、このまちに暮らし集う一人ひとりが、あるがままの自分を大切にしながら、豊かさと幸せを感じ続けられるように、そして、さらに磨きをかけて次の世代に届けられるように、挑み続けます。

6 行動指針

基本理念に基づく、市民と行政の行動指針

- (1) みとめる
自分らしく生き、支え合う
- (2) まなぶ
共にはぐくみ、学ぶ
- (3) いかす
自然・歴史・文化の恵みを受け継ぎ、磨く
- (4) つなぐ
人・街・自然をつなぎ直し、未来に贈る
- (5) いどむ
新たな価値を創造し、常に進化する